

2.2.3.3 境界条件の付加

境界条件指定の操作手順を表 2.2.3.3-1 に示します。

表 2.2.3.3-1 境界条件付加の操作手順

#	コマンド	入力ファイル	出力ファイル	コメント
1	%msh2pch shaftcs.msh 18	shaftcs.msh	shaftcs_i.fgr shaftcs_i.pch shaftcs_i.trn shaftcs_i.pcg (i は整数)	メッシュから面を抽出します。
2	%bcGUI shaftcs_18.pch shaftcs_18.pcg	shaftcs_18.pch shaftcs_18.pcg		図 2.2.3.3-1 に bcGUI 起動時の画面を示します。(回転操作はしてません)。 左ボタンのドラッグが平行移動。 真中ボタンのドラッグが回転。 右ボタンのドラッグがズーム。
3	ある面を選択			全ての面に同じ境界条件を設定します。 Shift キーを押しながら左クリックで節点を選択できます。更に右クリックを繰り返すとその点が所属する面が順次選択されます。 最初に選択された面を図 2.2.3.3-2 に示します。
4	メニューで BC > Add Displacement X = 0 を指定			図 2.2.3.3-3 に境界条件指定のためのダイアログを示します。 bcGUI が応力解析にしか対応していないため、強制変位の値を設定する機能で静磁場解析用境界条件設定のために代用します。具体的には X 方向の強制変位=0 で代用します。
5	3 と 4 を必要回数繰り返します			その他の選択面を図 2.2.3.3-4 に示します。
6	メニューで View > Boundary Condition > View Displacement			境界条件が設定されている面の確認です。設定していれば緑色で表示されます。赤色ではだめですのでご注意ください。図 2.2.3.3-5 を参照して下さい。
7	メニューで File > Save Condition		shaft.cnd	図 2.2.3.3-6 に保存するファイルを指定するためのダイアログを示します。
8	メニューで File > Quit			Really Quit? と聞いてきますので OK をクリックします。

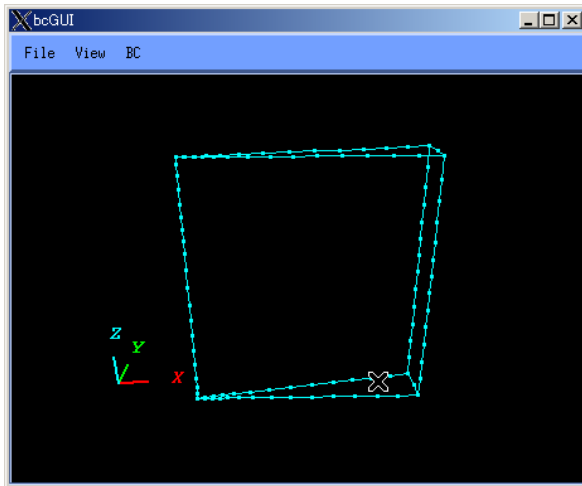


図 2.2.3.3-1 bcGUI 起動時

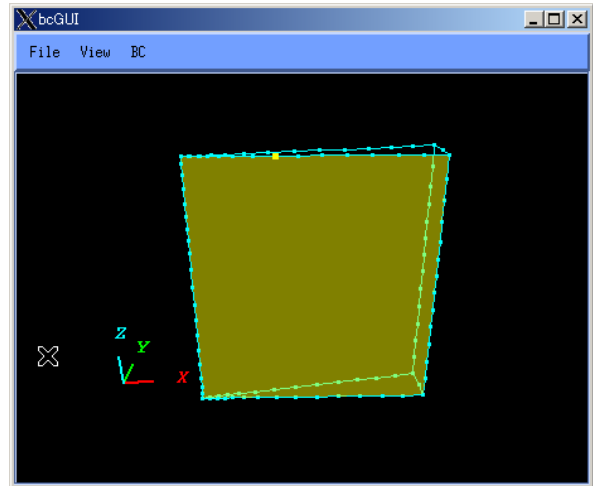


図 2.2.3.3-2 最初の面を選択

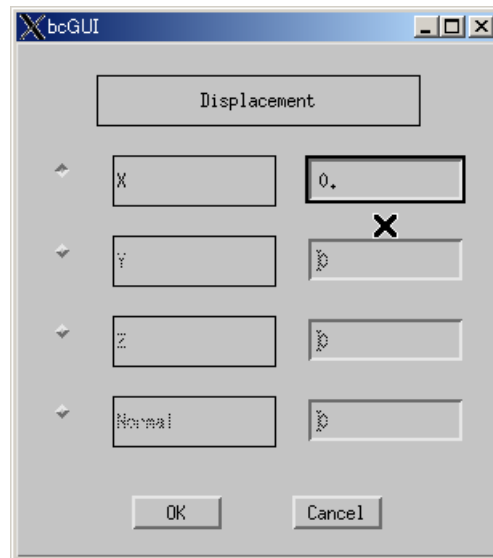


図 2.2.3.3-3 Add Displacement ダイアログ

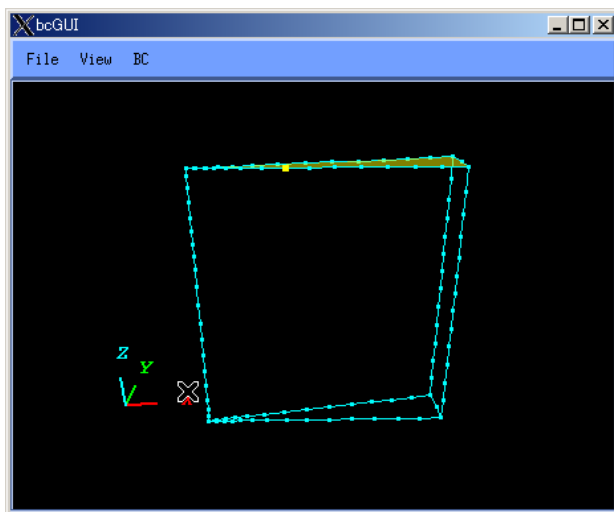


図 2.2.3.3-4(1/4) 面の一つを選択

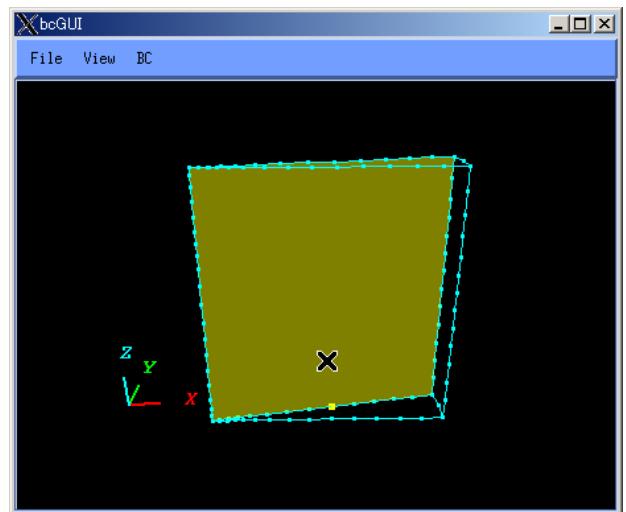


図 2.2.3.3-4(2/4) 面の一つを選択